



認定特定非営利活動法人 2017.5.17 Vol.111

日本災害救援ボランティアネットワーク
Newsletter

響想の社会をめざして

熊本地震から一年



NVNADでは、今回特別なイベントは行いませんでした。私自身も、阪神大震災が発災した1月17日は亡くなった友人や知人の命日であって、発災の記念日ではないと思っていますから。ただ1年経った今、熊本の皆さんはどう

していらっしゃるのか、そして今後の課題や支援について探るために益城町を訪ねました。滞在中、マスコミと思われる人たちが至るところにいました。最近では熊本地震のテレビ報道などもめっきり少なくなりましたが、やはり1年の節目だからということでしょうか。

4月14日(金)は益城町役場子ども未来課、木山中学校、広安西小学校を訪ね、野田村の子どもたちとの交流事業(今年1月)のことや、西宮市立中学校との今後の交流について話しました。その夜は熊本学園大学ボランティアセンターを訪ねましたが、同大学は昨年福祉避難所だった頃に訪

れ、そのコーディネーターは当初出会った学生でした。話をしている20時過ぎにも電話が鳴り、23時頃まで詰めていることもあるとか。センターの一室にはまだ山積みの企業からの支援物資があり「それを早く配らないと」という彼女は疲弊しきっていました。配布先(なるべく取りに来てくれる)を探すことを約束し、昨年からであった近隣の子育て支援団体等に連絡、翌日訪れた益城町立(2ページへ続く)



- c o n t e n t s -

- P 1 ~ 2 熊本地震から一年
- P 2 V I S I O N 1 1 7 / K S N 交 流 会
- P 3 福 島 訪 問
- P 4 野 田 村 フ ァ ン ク ラ ブ / N P O フェスティバル / ふれぼの一周年
- P 5 災 害 か ら 考 え る 西 宮 地 域 づ く り フ ォ ー ラ ム 2 0 1 7
親子でわがまち探検隊 / 寄付金募集
- P 6 子 ども 防 災 ク ラ ブ / 高 木 春 ま つ り
- P 7 N う ご き / N ご よ み
- P 8 会 員 ・ 寄 付 者 ・ 募 金 者 の み な さ ま / 編 集 後 記

保育所では所長さんが「益城町内の5つの保育所には私から配ります」と仰ってくださいました。この保育所は地震で全壊し、避難所だった総合体育館横の仮設園舎で保育をしていました。

15日のテクノ仮設のおひさまカフェ（熊本学院大学学生運営）では、最近会えていなかった女性（この震災で障害を負った）や、見なし仮設にすむ幼児保護者に会い今後の交流などについて話しました。また、昨年の夏に行った杉堂地区にも出向き、なかなか進まない復興の現状を目の当たりにしました。そのほか西原村の子ども食堂と前述のコーディネーターとを繋ぐことなどをしましたが、震災から「もう一年」とともに「まだ一年か」と思う2日間でした。

（NVNAD理事 米山清美）

VISION 117

熊本地震から1年が過ぎました。被災地では、すでに暑く感じる日が訪れています。熊本地震では、当初の災害ボランティアの受付や活動態勢に混乱が生じたところもありました。その災害ボランティアセンターも閉鎖され、いよいよ復興へと進み始めておられます。仮設住宅では、まだまだ大変な生活が続いています。NVNADでは、学生ボランティアさんによる集会所での活動支援を支えてきました。今春、大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程を修了した崎浜公之氏もその一人でした。彼の修士論文は、「被災者と災害ボランティアの共生をめざして - 熊本地震の現場から被災者のニーズを

問い直す」という書籍として出版されました（Amazonで手に入れることができます）。被災地では、災害ボランティア達が懸命に動きますが、それが必ずしも被災者の皆様のニーズに対応していないということが起こります。結局、ニーズとは何なのか。崎浜氏の本は、この問いに応えようと発災直後から長期にわたって現地で奮闘した崎浜氏自身の体験と考察を丁寧に綴ったものです。現在、熊本の被災地では、他にも学生ボランティアが、被災者お一人お一人に寄り添う活動を継続しています。NVNADでは、皆様からのご支援をもとに、こうして地道に活動する学生ボランティアを応援することも続けていきます。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

（理事長 渥美 公秀）

KSN交流会

3月20日(月・祝)、今年度最後のKSN(関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNAD)交流会を開催しました。午前中は「北野工房」へ行き、キャンドルづくりに挑戦しました。透明ガラスの入れ物に砂やビーズや飾り物などを入れ、その上からロウを流し込んで作ります。90分ほどで素敵なオリジナルのキャンドルが出来上がり、皆さんとても喜んでおられました。



その後は三ノ宮の会議室に移動し、昼食を全員で食べたあと、自己紹介やビンゴ大会、そして1年間の活動を映像で振り返りました。最後に、参加された皆さんから卒業する関学関ゼミ4回生にメッセージカードの贈呈、そして卒業生全員から挨拶がありました。KSNの活動は来年度も継続予定です。スタッフおよび大学生の皆さん、1年間お疲れ様でした。

一 福島訪問 一



東日本大震災から6年を迎えた3月、福島県郡山市に伺い活動しました。郡山では、地元のNPO法人ハートネットふくしまさんが、2011年東日本大震災の発災直後から被災者支援活動を続けておられます。避難所においては、主に炊き出しと救援物資の配布を避難所解消まで続けられ、その後は、

仮設住宅や復興住宅での炊き出しやお茶会の開催など、被災者に寄り添う形で支援活動を現在も行っておられます。私どもNVNADは、ハートネットふくしまさんの活動を後方支援させていただくかたちで、この6年間福島の被災者の方々への支援を続けてまいりました。

3月10日、富田町若宮前仮設住宅集会所において、お茶会を手伝わさせていただきました。ハートネットふくしまさんは、震災が発生した2011年夏頃にこの仮設住宅が設置されて以来、被災者支援を目的としたお茶会を行ってこられました。富岡町民と双葉町民を対象に、それぞれ週1回行っているお茶会も5年半におよび、回数にして500回を数えることとなります。ハートネットふくしまさんは、このお茶会の他にも他の仮設住宅や復興公営住宅での炊き出しなどを続けておられ、この息の長い支援が支えになっている被災者の方が沢山おられます。避難指示区域解除や復興公営住宅への引っ越しにより仮設住宅を出られる方も増え、お茶会の参加者は減っていますが、少数になっているからこそ支援が必要でもあります。NVNADが富田町若宮前仮設住宅のお茶会に、西宮から毎月季節のお菓子を送らせていただくようになり5年以上が経過しました。この継続的支援の背景には、阪神大震災を体験した西宮の会社として息の長い支援を、とご協力くださっている高山堂様の存在があります。

翌3月11日は、県営の復興公営住宅・東原団地で行われた活動に参加しました。東原団地は1～3号棟で計85戸あり、集会所は1号棟にあります。その集会所で、入居者の皆さんとうどんづくりを行いました。中力粉に塩と水を加えてこね、少しねかせた後さらに足で踏みながら生地をまとめていく作業を、おひとりずつに体験いただき、各自が作ったうどんは、麺棒で伸して切るところまで仕上げ、お土産として持ち帰っていただきました。

昼食に、ハートネットふくしまの吉田理事長が前夜から準備して下さったうどんを茹で、野菜たっぷりの“けんちんうどん”として振る舞った後、地震が発生した2時46分にむけ追悼ろうそくを並べました。用意された約400個のろうそくは、「絆」の文字をハートで囲むように並べられ、2時46分には、東原団地祈念会として全員で黙祷を捧げました。

東日本大震災から6年の歳月が経ち、復興公営住宅の建設や避難指示区域解除など、一見復興が進んでいるように見られる一方で、被災者個人個人の復興状況の差がより拡大しているように感じられます。今回の訪問を通じ、取り残されたと感じる被災者をできるだけ生まない、被災者に寄り添った息の長い活動が必要であると改めて感じています。今後の活動への思いとともに、6年にわたりこの活動を継続できておりますことを、NVNADをご支援くださっている皆様感謝いたします。



野田村ファンクラブのつどい

2月12日(日)、西宮市の門戸厄神駅近くにあるレンタルキッチンをお借りして、野田村ファンクラブ主催の「料理対決なのだ!」を開催しました。岩手県野田村から取り寄せた野菜などの食材を使って、チーム対抗で料理を作るという初めての試みです。まず、何を作るかの作戦会議のあと、2,500円以内という予算で近くのスーパーに買い出しに行きました。そして各チーム真剣に料理に挑み、約1時間30分で料理が完成しました。

Aチームは「しだみ団子を隠し味に入れた絶品グラタン」、Bチームは「野田食材を贅沢に詰め込んだホワイトシチュー」。結果的にはBチームの勝利となりましたが、両チームどちらも絶品の出来ばえで、全員で美味しくいただきました。途中、スカイプ中継で野田村の方々や野田村に滞在していた学生さんともお話しすることができました。

料理を作るという作業を通じて参加者同士の交流も図れ、また、野田村のことを色々と語り合えるこのような企画はとて素晴らしいと、参加者から好評でした。また開催したいと思います。今回パールにて食材の調達をしてくださった野田村の下向様、ご協力ありがとうございました。



NPOフェスティバル

3月25日(土)、西宮市役所前の六湛寺公園にて「NPOフェスティバル」が開催されました。NVNADもブースを1つお借りして、佐用町久崎で活動しているチャコネットの活動の紹介と、地元の特産品である竹炭のPR販売を行いました。当日は、一緒に活動をしている関西学院大学の学生さん、そしていつもお世話になっている佐用町久崎のKさんにもお越しいただきました。佐用町の水害から今年の8月で8年を迎えますが、これからも交流活動を続けていければと考えています。30袋用意した竹炭はお陰様で完売しました。お手伝い下さった学生さんとKさん、ありがとうございました。

ふれぼの

3月24日(金)、事務所近くにある「ふれぼの」施設にて1周年のイベントが開催されました。西宮市社会福祉協議会理事長の挨拶にはじまり、1年間の活動をまとめたビデオが上映されました。災害時に、障がいのある方の避難所として想定されている施設ですが、普段から子どもや高齢者などあらゆる世代との交流があり、いざという時に大きな力を発揮できるものと思います。これから色々な場面で一緒に活動が出来ればと思います。西宮市社会福祉協議会の皆様、いつもありがとうございます。

一周年

災害から考える西宮地域づくりフォーラム2017

4月26日(水) 西宮市勤労会館にて、“災害から考える西宮地域づくりフォーラム2017”を西宮市社会福祉協議会、コープこうべ第2地区活動本部と共同開催させていただきました。益城町社会福祉協議会・國元事務局長の基調講演では、熊本地震から一年、益城町の変遷と社協の対応についてのお話があり、平時でのコミュニティー作り、人と人とのつながりが災害時に非常に大事になることを「人間力」「地域力」というキーワードを用いて教えていただきました。そのあと、NVNAD・コープこうべより東日本や熊本での支援ボランティアの報告があり、今後のボランティアの在り方、地域づくりについて、改めて考えることのできたフォーラムとなりました。



親子でわがまち探検隊

3月4日(土)午前中、西宮の高木公園と高木市民館にて、高木地区青少年愛護協議会と高木公園管理運営協議会とNVNADの共催で、西宮市の受託事業として「親子でわがまち探検隊」を実施しました。

まず、防災倉庫の資機材について説明があり、続いて、公園内にある災害時のトイレシステムの設置体験をしました。そして西宮上下水道局による



DVDを觀賞したあと、実際に公園で緊急貯水槽の見学や飲料水を運ぶ体験などをしました。

最後に非常食の試食体験があり、お湯を入れてご飯が出来上がるのを待つ間、熊本地震の被災地の状況についてスライドで紹介させていただきました。参加者は、地元の親子約80名。地震や水害など災害はいつ起こるかわかりません。高木地区のこのような取り組みは、いざという時に備えても意義があると思います。高木地区の皆様、西宮市上下水道局と防災啓発課の皆様、大変お世話になりました。

寄付金募集!!

当団体は、災害救援支援活動や防災まちづくり活動、ネットワーク活動、災害についての講演、講座、セミナーなどの活動を行っております。皆様から頂きました寄付金は、この活動を継続していくために役立ててまいります。ぜひともご支援・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、当団体は認定NPO法人ですので、いただいた寄付金は**税制優遇**を受けることができます。

振込銀行 三井住友銀行 西宮支店 普通 NO.7833406
名義：特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク

子ども防災クラブ



3月4日(土)高木北小学校にて、今年度最後となる第6回子ども防災クラブの活動を行いました。プログラム前半は、映像を見ながらクイズもまじえ、1年間の活動を振り返りました。後半は、今回が初めての試みとなる学生リーダー主導によるワークショップを行いました。状況と場所が異なる2種類の災害を想定し、どのように行動するか、また必要なものは何かを3つのグループに分かれて話し合う方式ですが、思いついたことを小さいメモに書いて貼り付けていく形式が新鮮だったのか、色々な考えや意見が飛び交いました。学生リーダーの皆さん、1年間ご協力いただきありがとうございました。



高木春まつり

4月16日(日)西宮市の高木公園にて、恒例の高木春まつりが開催されました。

NVNADも毎回好評の魚釣りゲームを実施し、今回はさらに被災地支援ブースを設けました。熊本からは『くまモンふりかけ&キャンディセット』と『くまモン文具セット』、そして佐用町からは特産の竹を利用した『竹炭セット』を販売しました。西宮でもくまモン人気は健在で、小さいお子さんを連れのお母さん達が喜んで購入してくださいました。可愛いキャラクターをとおして被災地に想いを寄せていただけたらと思います。くまモングッズ選びにご協力いただきました熊本のハツ塚様、どうもありがとうございました。



Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。

- | | | |
|----|--------|--|
| 2月 | 5日 | チーム北リアス会議（東京） |
| | 11日 | 佐用町訪問（兵庫県） |
| | 12日 | 野田村ファンクラブ（西宮市） |
| | 16日 | 災害・防災研修会（門真市） |
| | 17日 | ニュースNo.111発行 |
| | 18日 | 天王寺災害ボランティア講座（大阪市）
保育園講演会（尼崎市） |
| | 25日 | ふれぼの防災イベント講演会（西宮市） |
| | 26日 | 西宮コミュニティ協会講演会（西宮市） |
| 3月 | 4日 | 親子でわがまち探検隊（西宮市）
子ども防災クラブ（西宮市）
震災を考えるつどい（豊中市） |
| | 4～5日 | 佐用町訪問（兵庫県） |
| | 10～12日 | 郡山市訪問（福島県） |
| | 16日 | NVNAD理事会（西宮市） |
| | 18日 | 津市講演会（三重県） |
| | 20日 | KSN学習会（西宮市） |
| | 23日 | 佐用町訪問（兵庫県） |
| | 24日 | ふれぼの一周年（西宮市） |
| | 25日 | NPOフェスティバルに出店（西宮市） |
| 4月 | 2日 | 震災被災地支援交流会講演（大阪府）
佐用町桜まつり（兵庫県） |
| | 9日 | 丹波桜復興まつり（兵庫県） |
| | 16日 | 高木春まつり（西宮市） |
| | 20日 | 防災研究会（兵庫県） |
| | 26日 | 西宮合同フォーラム（西宮市） |
| | 27日 | 休眠預金フォーラム（神戸市） |
| | 29日 | 野田村ファンクラブ（西宮市） |
| 5月 | 15日 | NVNAD理事会（西宮市） |
| | 17日 | ニュースNo.111発行 |



Nごよみ

今後の予定・講演などのスケジュール

- | | | |
|----|--------|---------------------|
| 5月 | 9日 | 災害ボランティアセンター会議（西宮市） |
| | 15日 | 通常理事会（西宮市） |
| | 20～21日 | 佐用町訪問（兵庫県） |
| | 24日 | 近畿ろうきん会合（大阪市） |
| | 27日 | NVNAD会計監査（西宮市） |
| 6月 | 1日 | ひょうごん運営会議（神戸市） |
| | 13日 | 広田コミュニティ講演会（西宮市） |
| | 24日 | NVNAD通常総会（西宮市） |
| | 25日 | 佐用町訪問（兵庫県） |
| | 30日 | ひょうごん総会（神戸市） |
| 7月 | 6日 | JICA関西講演（神戸市） |
| | 7日 | 甲子園短期大学講演（西宮市） |
| | 29日 | 中越沖地震10周年（新潟県刈羽村） |
| 8月 | 2～3日 | 防災キャンプ（兵庫県佐用町） |
| | 17日 | ニュースNo.112発行 |



～ 会員・寄付者・募金者のみなさま～

継続会員のみなさま（2017年2月1日～2017年4月30日）

個人正会員：「継続」舟知正、桐山裕文、三好紀昭、米谷収、山岸裕吉、山岸のぶ子、植木和夫、三浪富士子、鈴木勇、鶴田芳樹、二宮英夫、齊藤秀子、片岡幸彦、新野幸次郎、奥田和子、明石恵實、明石貞子、山下佳子、矢守克也、矢守恭代、魚島侑子、谷原和憲、林幹高、南義彦、森川博雄、山口元、荻原迪子、八ッ塚としえ、松野博、田中正秀、田中みどり、北村英夫、米山清美、梶昌代、寺本弘伸

個人賛助会員：「新規」八ッ塚一郎、中村三佐子、薄木公平

個人賛助会員：「継続」石川智子、赤対泰、赤対美千代、掛水須美枝、廣瀬輝男、小島あつみ、志賀理恵、秋山洋子、忽那須美男、御内眞理、上野由紀子、小林良彦、小林静子、谷孝大、渥美久栄、菅野秀徳、菅野好恵、竹下養子、大里恵子、小林英子、渡邊保、渡邊鶴予、中川純子、三浪治子、小栗優子、吉岡啓次、中垣伸、平井芳明、渡辺清武、中島久美子、松山晋也、渡辺由子、鈴木憲一、宮城久代、御船鋼山田和子、山田明子、葉千鶴子、荒銀昌治、荒銀和子、戸口始、戸口裕子、戸口京子、谷淵啓子、滝沢正彦、朝井朋子、田中恵子、今井曜子、藤森町子、葉田野玲

法人正会員：「継続」日本労働組合総連合会大阪府連合会

法人賛助会員：「継続」株式会社京佐興産、株式会社笑顔の食卓

団体正会員：「継続」社会福祉法人光朔会オリンピア、宗教法人真如苑
にしのみや遊び場つくろう会

寄付者のみなさま（2017年2月1日～2017年4月30日）

「一般」：近畿ろうきんNPO寄付システム契約者の皆様

ソフトバンクかざして募金（寄付者）の皆様、舟知正、掛水須美枝、鈴木勇、忽那須美男、鶴田芳樹、二宮英夫、新野幸次郎、小林良彦、小林静子、渥美久栄、明石恵實、明石貞子、山下佳子、魚島侑子、南義彦、吉岡啓次、島和子、宮城久代、シルバー人材センター、尼崎武庫支所、戸口京子、奥田和子、田中稔昭、古山博司

募金者のみなさま（2017年2月1日～2017年4月30日）

「東日本大震災」グッドスナカヤマヨシ、宗教法人真如苑

「平成28年熊本地震」宗教法人真如苑、高木春まつりにご来場のみなさま

ご協力いただいたみなさま

株式会社高山堂

（順不同、敬称略）

ご支援、ご協力ありがとうございました。

尚、振込み頂いた方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

編集後記

この4月で熊本地震から1年が経過しました。最近、関西ではほとんどニュースに流れなくなりました。本会が支援に関わっています益城町の仮設住宅では、これからこそ色々な課題が浮き彫りになってくると言われています。今後も息の長い支援が必要だと感じます。（H・T）

認定特定非営利活動法人 **日本災害救援ボランティアネットワーク**〔NVNAD〕

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀 編集人：伴美代子